

熊本地震 学校日記 vol.1

熊本地震が起きてから学校再開までの美咲野小学校の様子について保護者の皆様にお知らせしたいと思います。これまでに臨時休校は12日に及び土日や祝日を合わせると、最初の地震から20日以上が過ぎました。長い時間の記録ですので数号に及びますが、学校の様子を少しでもお伝えできればと思い、シリーズで書いてみることにしました。おつきあいください。そして、地震以外の話題で美咲野小だよりをお届けする事ができる日が来ることを願っています。

美咲野小だより

5月

NO.2
H28.5.11
大津町立美咲野小学校
文責：草場ルミ子

校長室の窓から

まさか熊本でこんな大きな地震があるなんて……しかも二日目が本震なんて……今でも地震は夢だったのではないだろうか……と思い、いやいや違う、夢じゃない……と何回心の中で思ったことでしょうか。皆さんもきつと似たような感覚じゃないかと思えます。阿蘇大橋、阿蘇神社、熊本城の映像を見るたびに悲しくなるのは熊本県民みんなではなからうかとも思います。この度の地震で被災された方々、車中泊や避難所生活をされた(続いている)方々に、心よりお見舞い申し上げます。

4/14(木)21:26 1回目の地震



PTA 運営委員会が19時からあり終了したのが20時半頃、私が学校を出たのが21時前、地震が起きたのは家に到着した直後でした。教頭先生やPTA役員さん方はまだ学校にいた時間だったそうです。いろんなブザーが鳴り、その対応に追われそれを終わらせて帰ろうとしたとき、「体育館を開けてください」の一報が入ります。教頭先生はそのまま学校に残ることになりました。私が学校に戻ったのが22:40頃、体育館には水や毛布等の支援物資が運ばれてきていました。翌15日は歓迎遠足の予定でした。学校に戻るまでは遠足は無理でも歓迎会だけでも……などと思っていたのですが、体育館は避難所になり0時頃休校が決まりました。さて休校であることをどうやって保護者の皆さん、そして先生たちに知らせたらよいでしょう。4月14日メール登録をお願いしていたもののその時点での登録者は100名、50名の職員も20%に満たない登録率でした。しかも午前1時。しかたなく、子どもたちへは、教頭先生と清原PTA会長が中心になり、子ども会の連絡網や様々な手段を駆使して連絡をしました。職員へは私と永田主幹で午前5時から電話連絡をしました。職員の電話連絡網はつくったばかりでまだこれから配付するという段階でしたので、まずは学年主任へそして数人への連絡を頼みつつ現実にはそううまく電話もつながらず7割以上の先生には直接電話をしました。

4/15(金)の学校

敷地内・校舎内を見て回ると児童玄関前に一部破損がありました。6:00頃から続々と職員が出勤し始め、明るくなったところで被害場所がないか確認してもらいました。美咲野小は保護者引き渡し訓練をしたことがないとのことだったので、その案を考えてくれた先生もいました。また福永先生に役割分担をもらい2~3人ずつのグループに分かれ通学路点検に出発したのが7:55。9:55に全員が帰校し10:00から職員会議。議題は、①点検結果報告②地震発生からこれまでの経過報告③4/18(月)からの予定。13:00町校長会議。その時点では月曜日の給食はできないので弁当持参で通常授業との方向性を話し合い15:00再度職員会議。遠足の前にするはずだった歓迎会は4/24(授業参観の予定でした)にすること、スポーツテストは予定通り。弁当が作れる状況かどうか微妙なので弁当なしの午前中授業も視野に入れて対応しましょうと確認し、最後に全員で子どもたちが安全に児童玄関から入れるように凹凸ができた上にマットを敷いたりプランターを置いたりして「じゃあ月曜日に!」と解散しました。そのときは誰もあの本震が来るとは思ってもいませんでした。

下の写真は4/16本震後の児童玄関前の写真です。金曜日にみんなでかぶせたマットは何の意味もなく無残な状態に変わっていました。



第2条

元気にあいさつ
習慣に

～熊本県家庭教育十カ条より～

